

■令和6年11月11日～13日 建設委員会 県外調査（茨城県、群馬県、栃木県）

I 11月11日 国営常陸海浜公園事務所

【調査項目】

P F I 事業における運営、実績等について

【調査概要】

国営ひたち海浜公園は茨城県ひたちなか市にある、平成3年10月5日に開園した国営公園である。水戸対地射爆撃場跡地に、地元からの強い要望で計画された。公園の広さは全体面積350ha（東京ドーム75個）、開園面積215ha（東京ドーム46個）である。

現在5つのエリアに分けられて整備されており、そのうちのプレジャーガーデンエリアについて、独立採算型の公園P F IとしてP F I事業の枠組みで公募を行い、民間事業者が事業を実施している。P F I事業とともに、季節に応じたイベントを多く開催し、年間を通じて多くの来園者がある公園を管理運営していく上での課題等に関する説明を受け、質疑応答の後、現地調査を実施した。

<ひたちなか地区の概要>

国営ひたち海浜公園の立地するひたちなか地区は、ひたちなか市、東海村にまたがる地域に位置しており、水戸対地射爆撃場跡地の1,182haに都市、港湾、レクリエーション、産業機能を有する広大な開発地である。

昭和48年に在日米軍より1,182haが返還された。跡地は、国営公園用地（350ha）、流通港湾関連施設用地（194ha）、自動車安全運転センター用地（100ha）、公共公益施設等用地（87ha）等としての利用が決定し、快適な環境を持つ職場と質の高い遊びの場が融合した町（ビジネス&プレジャー）を実現できる国際港湾公園都市として一体的に整備している。

<公園の利用状況>

4月のチューリップやネモフィラが有名となったことから、一年のうち、4月と5月の入園者が一番多くなっている。平成31（令和元）年度には5年連続で200万人を越える入園者があったが、令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉園した期間があったため、入園者が減少している。また、2019年までは、ひたち海浜公園を会場としてロックフェスタが行われていたが、開催地が移転して以降、夏の入園者が減少している。

令和5年度の利用者数は約183.7万人。うち大人（高校生以上）は116.3万人、シルバー（65歳以上）26.9万人、無料入園者は40.5万人。外国人の観光客は全体

の2%程度。来園手段は自家用車が91.7%を占めている。

令和6年4月21日に、開園からの累計入園者数が4,000万人を突破した。

<公園の管理運営体系について>

国営常陸海浜公園事務所、ひたち公園管理センター、株式会社常陸サンライズパークの3者で管理運営を行っている。

国営常陸海浜公園事務所では、公園の計画、整備、予算管理、入園料等の歳入事務、維持管理関係業務委託及び工事の設計・積算・監督、維持管理に関する調査、都市計画法の許可業務等を行っている。

ひたち公園管理センターでは、国営常陸海浜公園事務所と委託契約を行い、入園券の発売やインフォメーション業務、園内の植物の管理育成、施設管理・清掃などの維持管理業務、物販等の業務を行っている。

株式会社常陸サンライズパークでは、PFI事業施設として、有料レジャー施設や園内バス、レストラン等の物販業を行っている。

<プレジャーガーデンPFI事業について>

プレジャーガーデンは特定公園施設として、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）が民間資金を活用して設置管理を行ってきたが、平成30年度末で国営公園関連事業から撤退した。以降はPFI事業として民間の資金と能力を活用し、飲食物販、運動施設、眺望施設、遊覧施設、高度な遊戯施設等の整備運営管理を行うこととし、平成30年11月から株式会社常陸サンライズパークが事業を行っている。UR都市機構時代は遊具単位で管理を行っていたが、PFI事業により、遊園地施設内の通過動線以外のエリア管理をするようになり、一体管理できるようになった。

これにより、事業者の運営の柔軟性を担保するとともに、国の支出を減らすという効果が出ている。

- ・事業者：株式会社常陸サンライズパーク
- ・構成企業：泉陽興業株式会社、株式会社山田商会
- ・事業期間：平成30年11月～令和21年3月31日
- ・事業面積：約9ha
- ・事業方式：独立採算型
- ・主契約事業：飲食物販施設、運動施設、眺望施設、園内遊覧施設
- ・附帯収益事業：高度な遊戯施設（ジェットコースターなど）

【質疑応答】

Q. 花の公園として非常に有名だが、植栽のコストについて工夫されている点はあるか。

A. 入園料収益で行うようにしており、春や秋には450円の入園料に350円の季節料金を上乗せしている。その350円を原資としている。また、地元の方で年間に複数回来園されるような方には、年間パスポートを販売している。これには季節料金は上乗せをしていない。

Q. 駐車場収容台数はどのくらいあるのか。

A. 公園内駐車場は4,350台ある。繁忙期はそれだけでは足りないため、近くの県有地を臨時駐車場として使わせてもらうが、使用料を払っている。契約内容に含まれていない事項については民間からの提案により柔軟に対応している。

Q. 園内にごみ箱は設置されているか。

A. ごみ箱の設置をしており、事業系一般ごみとして処理している。

Q. PFI事業の前はUR都市機構が管理していたということだが、長期の契約の中で建物の更新の費用は受けた側が建てられるような契約になっているのか。

A. 公募する段階で、屋根の塗装など、改修が必要な部分があるという情報開示をしている。増築などの内容ならば、事業者の提案で実施することは可能である。



Ⅱ 11月12日 宇都宮市役所

【調査項目】

芳賀・宇都宮LRT (Light Rail Transit) について

【調査概要】

宇都宮市と芳賀町は、誰もが拠点間を移動しやすいよう、鉄道やライトライン、バス、地域内交通、デマンド交通が連携した「階層性のある公共交通ネットワーク」の構築に取り組んでおり、令和5年8月26日に開業した芳賀・宇都宮ライトラインについて説明を受け、現地調査を行った。

<JR宇都宮駅東側の整備概要>

- ・営業キロ：宇都宮芳賀ライトレール線
約14.6km(複線)(宇都宮市域：12.1km、芳賀町域：2.5km)
宇都宮駅東口(宇都宮市)～芳賀・高根沢工業団地(芳賀町)
- ・停留所数：19箇所(宇都宮市域：15箇所、芳賀町域：4箇所)
- ・車両基地：1箇所(管理用、検修庫、留置線群、変電所)
- ・変電所：4箇所(宇都宮市域：3箇所、芳賀町域：1箇所)
- ・追越施設：2箇所(平石停留場、グリーンスタジアム前停留場)
- ・低床式車両：17編成(3車体連接)
- ・事業方式：公設型上下分離方式
- ・事業費：684億円(宇都宮市域：603億円、芳賀町域：81億円)

<LRTの特徴>

- ・専用空間を走行するため、時間に正確
- ・騒音や振動が少なく快適な乗り心地
- ・車両の床が低く平らで、乗り場との間に段差や隙間がほとんどないため、誰もが乗降しやすい構造
- ・他の交通手段と同じ高さ(道路上)なので、連携がスムーズ
- ・個性的で洗練された車両デザインが「まちのシンボル」になる

<ライトラインについて>

車両定員：1編成 約160人(座席50席)

導入車両：17編成(車両長 29.520m)

車両全ての扉の両側に乗車用・降車用リーダーを上下に設置することにより、交通系ICカードで全扉からの乗降が可能

＜ＪＲ宇都宮駅東側の整備効果＞

ライトライン沿線の人口は平成２４年度から令和６年の間に約５，０００人増加しており、沿線の地価も事業化が確実にされた平成２５年以降、商業地では約６％上昇、住宅地では約１１％上昇している。

移住相談件数は、令和２年に比べ令和５年では１０倍に増加し、移住者数も約１４倍に増加している。

また、清原工業団地では、ライトライン開業前後に、工場の建設などで１，１００億円超の投資がされており、まちの変化が数値にも現れている。

【質疑応答】

- Ｑ．ＬＲＴ整備による市街地渋滞への効果は出ているのか。
- Ａ．車の交通量の減少は多少見られるが、路線の車道併用区間は車道が４車線から２車線に減ったため、車の渋滞が減ったわけではない。
- Ｑ．市民の移動への影響はあるのか。
- Ａ．定時運行され、移動時間が短縮したため若い世代から高齢者世代まで広く利用いただき、乗客数は想定を上回っている。また、整備した路線はＪＲ宇都宮駅から郊外の工業団地・住宅地をつないでおり、朝夕、住宅地からＪＲ宇都宮駅へ通勤・通学する人とＪＲ宇都宮駅から工業団地へ通勤する人が交互に利用されるため、多くの方に乗車していただいている。
- Ｑ．ＬＲＴ整備に向けて、既存のバス路線との調整はどのように行われたのか。
- Ａ．最初は、バス会社の全てが整備に反対であった。協議する中で、ＬＲＴとバスが共存する道を理解していただき、バス路線はＬＲＴの主要駅と住宅地をつなぐ路線に変更して運行していただいている。
- Ｑ．導入当初、事故はなかったのか。
- Ａ．車が右折できないところで右折し、ライトラインに衝突する事例があった。他にも数件車と車両が当たる事故が発生している。
- Ｑ．市民に対して利用を促すための工夫はしているか。
- Ａ．高齢者外出支援事業として、バスや地域内交通、ライトラインの乗車運賃として利用できる福祉ポイントの付与や、市内の小学生に小児用ｔｏｔｒａ（交通系ＩＣカード）プレゼントキャンペーンを行い、将来にわたって公共交通を利用してもらえるよう取組を行っている。



Ⅲ 11月12日 群馬県立金山総合公園（ぐんまこどもの国）

【調査項目】

ぐんまこどもの国について

【調査概要】

金山総合公園は、昭和54年の国際児童年を記念して設置された都市公園。子ども達が「健康な体」「豊かな心」「考える力」を育み、家族とともに利用できる公園として設置された。

「ぐんまこどもの国」の愛称で親しまれ、県内外から多くの来園者（県内6割、県外4割）が訪れており、サマーボブスレー、パノラマチェアが人気の遊具。群馬県民の日は、有料遊具が無料解放される。

平成18年度から山梅・ケービックスグループが指定管理者として公園の管理を行っている。現在で6期目。職員数は59人。構成企業において、造園土木、ビルメンテナンス、遊具を取り扱っており、その業態が公園の管理に活かされている。

令和4年頃から園内のナラ類やシイ・カシ類の木が枯れるナラ枯れが発生し、毎年50本程度が被害に遭っており、その対策が課題となっている。

- ・ 開園時期：平成3年5月2日
- ・ 共用面積：18.7ha
- ・ 主要施設：児童会館、レストハウス、ふれあい工房、遊具（49基）
- ・ 利用者数：約475,000人（令和5年度）

- ・料金収入：約45,000,000円（令和5年度）
- ・開園時間：8：30～17：00

【質疑応答】

- Q. 駐車場の台数はどのくらいか。周辺地域の渋滞対策にどのようなことをしているか。
- A. 園外に設置する臨時駐車場を含めると約650台。来園のピーク時には、周辺道路で渋滞が起こっていた。逃げ道がないため、地元的生活道路に車が流れて事故が起きたため、混雑時にはその道を封鎖していた。駐車場で警備員が誘導していても、渋滞が解消されず、来園を諦めて帰ってしまう事例が度々発生していた。公園内でレジャー用の簡易テントの設置を認めていたが、長時間滞在する人がいて流れが停滞していたことや事故があったのでテント設置を禁止すると、現在は、改善されてほとんど渋滞はなくなった。
- Q. 駐車場の有料化は検討されたのか。
- A. 群馬県は車が1人1台あるくらい普及しており、基本的に移動は車。検討をしたが、有料化は難しいのではないかという意見が多く、現状では有料化に踏み切れない。
- Q. 指定管理の範囲に施設の老朽化の更新は入っているのか。
- A. 軽微なものは、指定管理者ですることになっているが、費用が大きくかかるものは県と協議し、県の工事として調達している。
- Q. ナラ枯れ対策は指定管理者が行うのか。
- A. 対策は県で行っている。ナラ以外に最近桜の木もクビアカツヤカミキリによる被害が発生している。
- Q. イベントのPR方法は。
- A. アンケート調査によると、ホームページを見て来園される方が9割5分。そのため、ホームページの更新に力を入れている。インスタグラムやユーチューブなどのSNSも活用している。紙媒体では、小学校にチラシの配付を行ったり、じゃらんなどの旅行雑誌に掲載してもらっている。



IV 11月13日 利根川上流河川事務所（渡良瀬遊水地）

【調査項目】

渡良瀬遊水地について

【調査概要】

栃木県の南端に位置し、栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがる国内最大の遊水地である。洪水調節、利水補給を行い、首都圏を洪水・渇水から守るとともに、平成24年7月にラムサール条約湿地に登録され、多様な動植物の生息域として、自然環境の保全がされている。

（渡良瀬遊水地）

- ・面積：約33km²
- ・周囲延長：約30km
- ・総貯水容量：1億7180万m³

（渡良瀬貯水池）

- ・面積：4.5km²
- ・周囲延長：9km
- ・総貯水容量：2640万m³
- ・開発水量：日量21.6万m³

<遊水地の歴史>

明治29年に、洪水等により渡良瀬川の鉈毒被害が発生したことから、明治35年に、足尾鉈毒被害の防止対策の一つとして、氾濫被害の軽減のため渡良瀬川下流部に遊水地を作

る計画が打ち出された。明治37年に栃木県による谷中村買収が決定し、村は明治29年に廃村となった。明治43年に渡良瀬川直轄改修工事に着手し、大正11年に渡良瀬遊水地が完成した。

旧谷中村の遺構を保存するため、渡良瀬貯水地はハート形になっている。

<治水機能について>

渡良瀬遊水地は、増水した渡良瀬川の水を一時的に溜め洪水被害を防ぎ、地域と首都圏の安全な暮らしを守る重要な役割を担っている。普段は湿地や草原が広がっているが、洪水時には越流堤より調節池内へ水が流れ込み、下流に流れる水の量を減らしている。洪水が収まるまで、調整池内で水を貯め込み、洪水が収まると排水門を開けて調整池に溜まった水を川へ流している。

令和元年に、台風19号による洪水が発生したが、過去最大となる合計約1.6億 m^3 （東京ドーム約130杯）の洪水を貯留した。

<利水機能について>

渡良瀬遊水地にあるハートの形をした池が「渡良瀬貯水池（谷中湖）」。利根川上流ダム群と連携して、首都圏への生活用水の補給や河川の正常な水量を維持する目的がある。

渡良瀬貯水池のメリットとして、集水面積が大きいこと、供給地に近いことが挙げられ、その日のうち（約5時間）に水が届くとされ、首都圏2,700万人の飲み水を供給することができる。

渡良瀬貯水池では、4つの水質改善対策を行っている。

- ・ヨシ原浄化施設：ヨシ原での沈降やヨシが栄養分を吸着する性質を利用し、貯水池水を浄化する。
- ・谷田川分離施設：流入河川の谷田川をバイパスし、渡良瀬川の水を取水することで、貯水池の水質を改善する。
- ・干し上げ：渡良瀬貯水池の水を干し上げて、池底を天日にさらし、春から夏にかけて発生するカビ臭を抑制する。
- ・人工浮島：社交や栄養塩吸収などにより植物プランクトンの増殖抑制に寄与する。

【質疑応答】

Q. ヨシ原づくりのために手入れをしているのか。

A. 遊水地の貴重な湿地環境の保全や病害虫駆除を目的に、毎年3月頃ヨシ焼きを行っている。冬場に枯れヨシの中で越冬し、周辺地域の農作物に被害を及ぼす病害虫を駆除することや貴重な植物の発芽を促進する等の効果がある。

- Q. 遊水地の周囲は堤防となっているのか。
- A. 遊水地の周囲は河川の堤防を含んだ周囲堤がある。遊水地内では、河川と調節池を区切る堤防として^{いぎょうてい}圍繞堤と、河川の水位が上昇したときに調節池に河川の水を導くため、^{いぎょうてい}圍繞堤の一部が低くなっている越流堤とがある。5年に1度くらいの割合で、越流堤を乗り越えてくることがある。
- Q. 広大な遊水地内で、市町村などから多目的利用したいとしてグラウンドなどの施設を作りたいと話があればどのように対応しているか。
- A. そういう相談があれば、ぜひ使っていただきたいと思っている。今説明を行っているこの場所「体験活動センターわたらせ」も、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が設置・運営している。河川法による占用手続きを行うが、占用料は県が徴収する形となる。
- Q. 遊水地内の土地や施設管理の役割分担はどのようになっているか。
- A. 遊水地全体は国有地であるため国の管理となっているが、施設に関しては設置の自治体が管理している。排水機場などはそれぞれの施設管理者が管理している。

